

メヒシバ・アキメヒシバ・コメヒシバ

小林 浩 二

メヒシバ (いね科)

花 期 : 7-11月

草 丈 : 50-100cm

生育地 : 陽地の道端、空地、畑など

生育型 : 1年草

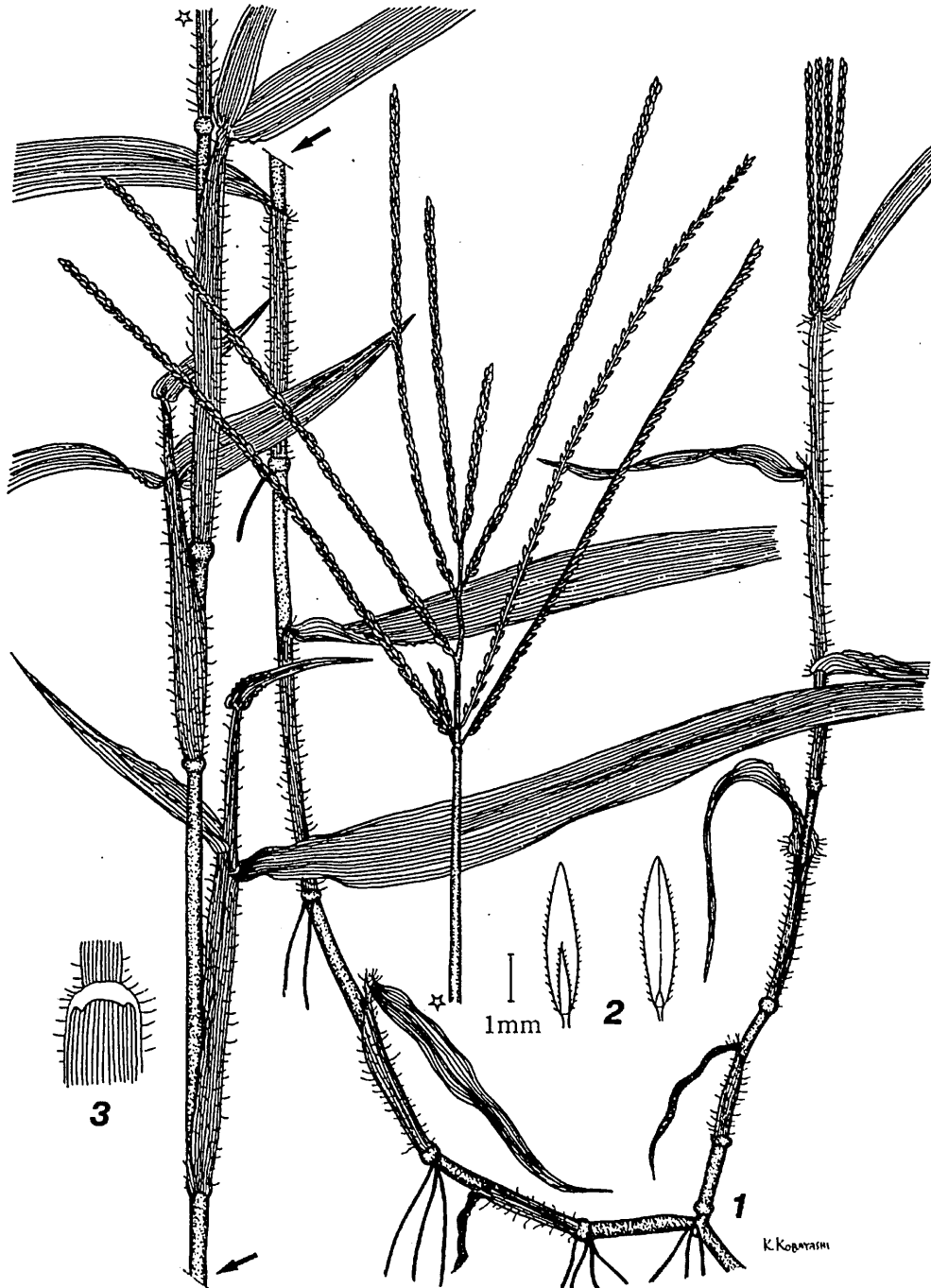
茎・葉 : 茎の下部は節ごとに発根し、上部はよく枝分かれし斜上する (図1)。

葉は互生し線形で先は尖る。葉鞘には多く開出した白い長毛があり、葉舌は2mmぐらいでめだたない (図1・3)。

花・果実 : 花序は4-8本の細い枝を散房状に出して多くの小穂をつける。小穂は2列にならび披針形で枝は平たい (図1・2)。

採集地 : 新潟市五十嵐三の町 1989.10.14 採集

ノ ー ト : 光陽地を好み、畑などに多く節々より根を出し大型となるので除草に苦勞する雑草である。



アキメヒシバ (いね科)

花期：9-11月

草丈：20-30cm

生育地：道端、空地など

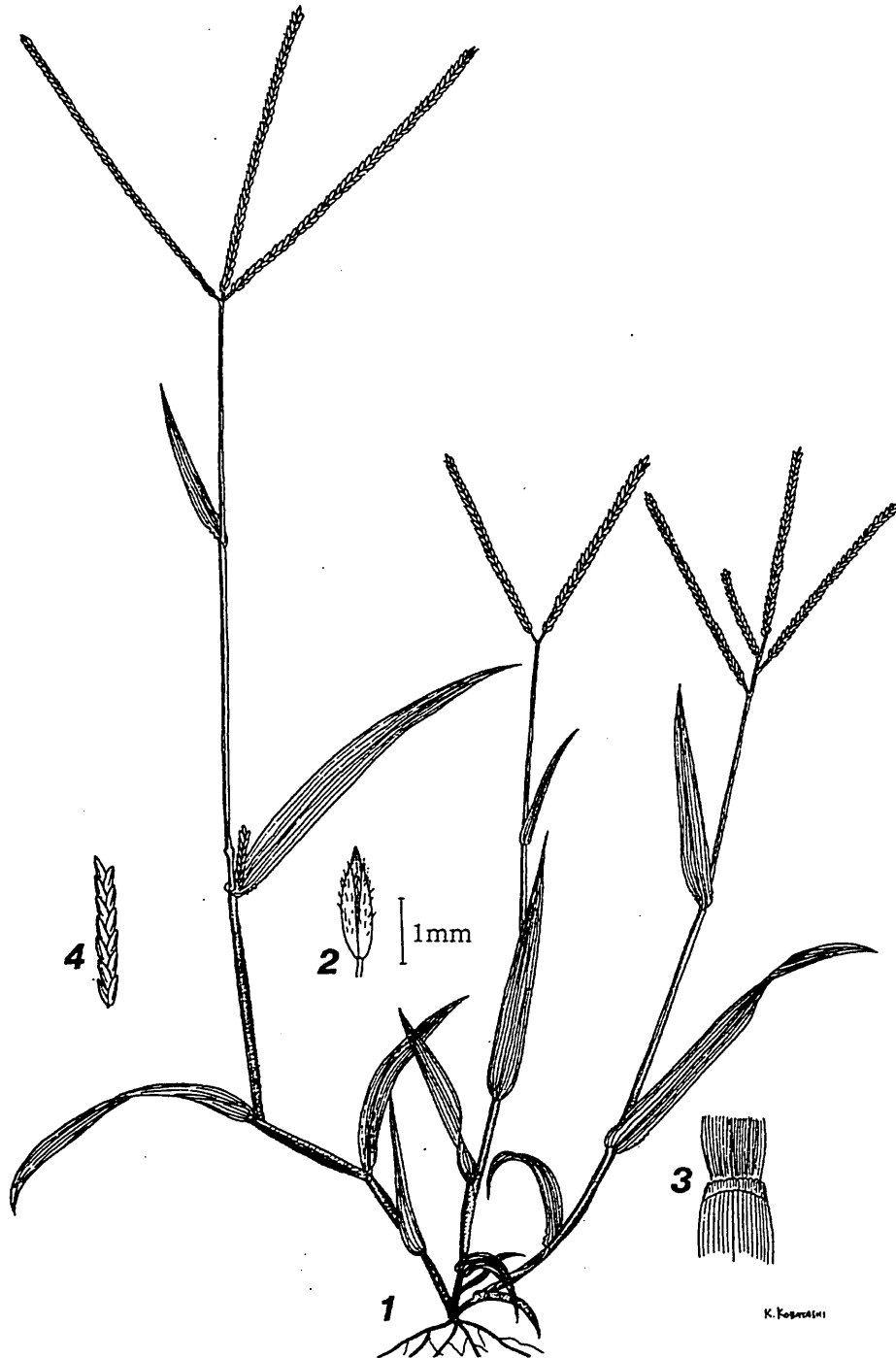
生育型：1年草

茎・葉：茎はせん細で基部から枝分かかれし株立をする(図1)。葉は互生し線形長さ8cm位で先は尖る。葉鞘は普通紫色をし、無毛で背側で2つ折となる(図1)。葉舌はうすい膜でわずかに褐色となる(図3)。

花・果実：花序は2-4本の枝を散房状に出して多くのごく小さい小穂を2列につける。小穂の先は尖らない(図1・2・4)。

採集地：新潟市五十嵐三の町 1989.10.10採集

ノート：メヒシバ、コメヒシバは茎の下部が横にねて節々から発根、枝分かれするが、アキメヒシバは株立となる。



コメヒシバ (いね科)

花期：9-11月

草丈：20-30cm

生育地：人家周辺の日陰など

生育型：1年草

茎・葉：茎はせん細で帯紫色で長く地下を這い、節ごとに根を出して広がる(図1)。葉は互生し質はうすく、無毛、長披針形で、小形丸みを帯び先は尖り、葉鞘は普通無毛(図1)。葉舌はめだたない(図2)。

花・果実：枝の先に2-3本の花穂を出し、穂軸には3個の翼がある(図3)。小穂は扁平で披針形双生し、長梗と短梗とで一組となる(図3)。図5・6は小穂、図4はめしべ。

採集地：新潟市附船町一丁目 1990.10.6 採集

ノート：メヒシバ、アキメヒシバに似ているが、全体弱々しく路地の日陰などを好み、ほとんど無毛、花穂の数は少ない小穂もややまばらに見える。

